

いろいろな生き物と一緒に生きる

次世代を担う子ども達に、身近な生き物とふれあうことで命を育む食べ物のことや、いろいろな生き物と一緒に生きていることを体感する環境学習を行っています。

農業体験

食品リサイクルループによる食品循環資源で作った堆肥で栽培した作物の収穫体験を実施しました。堆肥が発酵する時の臭いや熱を体感するとともに、堆肥で育てた野菜の畑にはミミズやカエルが生息していることを確認しました。



食品リサイクルの堆肥に触れる



大根収穫 (JAあいち海部)



芋ほり (JAあいち中央)

なごや環境大学インタープリター養成講座

伝える人 (インタープリター) として、魚やミツバチの生きている場所を訪ね、魚をさばいたり、蜜を収穫することで、生き物の恵みをいただいていることを体感し、家族や友達に伝えることを学びました。



ミツバチの巣から蜜を収穫



魚をさばく

エコ博 お店で生き物と触れ合いました

子ども達がお買い物に訪れるアピタの店でエコ博を開催し、生き物の命にふれ、「みんな大切な命」について学びました。

日本モンキーセンターキッズズー

子ども達に「生き物の命」と触れ合うことを体感するイベントを公益財団法人日本モンキーセンターとの協働企画としてエコ博で開催しました。カメやハムスターと触れ合い、いろいろな生き物と一緒に生きていることを感じました。



大きなリクガメ



小さな命に触れ合う

名古屋港水族館

ユニー本社の地元にある名古屋港水族館とコラボレーションし、移動水族館を開催しました。アカウミガメに触れたり、海の生き物に関するクイズ大会などを実施し、海に生きる生き物を知り学びました。



ウミガメに触れ合う



海の生き物クイズ

愛知県水地盤環境課 三河湾の生き物

愛知県との共催で、三河湾の生き物との触れ合いを通して、地元三河湾をもっと知ってもらおう活動を行いました。



三河湾の生き物と触れ合う

森を守る活動

森の町内会

森を守るために間伐し、その費用を環境評価として価格に反映させた紙を選んで使うことで、森林保全に貢献する活動です。ユニーは2013年の環境レポートなどの環境関連印刷物に7,286kgの森の町内会「間伐に寄与する紙」を使用し、長野県の0.47haの間伐に貢献しました。



森の町内会ロゴ

森の命を守る (キリン水源の森保全活動)

ユニーはエコ・ファースト企業のキリンビールやライオンとの共同企画でお客様と一緒に植樹活動を行いました。木を植えた後に手を入れることで森林を健全に保全できることを学びました。



キリン水源の森保全活動



生物多様性を利活用した商品

サスティナブルコーヒー

コーヒーは熱帯・亜熱帯の森で栽培されています。森は、たくさんの生き物の棲かであり、二酸化炭素を酸素に変える重要な役割を担っています。

サスティナブルコーヒーは、森とコーヒー栽培が共存できるように環境基準を守り、生態系を保全し、適正な価格で取り引きされているコーヒーです。そして、地球の未来、人々の未来がより良くなることを目指しているコーヒーです。世界的な環境認証団体により、お墨付きの「認証ロゴ」が与えられ、一般のコーヒーと見分けられるようになっているので、消費者にはぜひ購入して味わい、香りを楽しむとともに、森や生き物のことを考えていただきたいです。



サスティナブルコーヒー



珈琲工房ひぐち 樋口 精一さん

環境配慮商品eco!on

商品の容器や詰め替え用の袋といった資材はプラスチックでできています。通常プラスチックは石油を加工することで生産されますが、その石油は限られた資源であると同時に焼却時にCO₂を排出します。



バイオマスプラスチック製容器の柔軟剤

Style ONEの柔軟剤、液体洗剤類の包装資材をサトウキビ糖蜜由来のプラスチックを使用することで、枯渇が懸念される石油の使用量を抑制するとともにサトウキビの育成段階における光合成によってCO₂の発生を相殺する「カーボンニュートラル」を実現しています。



グループ商品企画部 チーフバイヤー 千葉 哲志